

令和6年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 6年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを明らかにするため、事実と感想・意見を区別したり、表現を工夫したりして、自分の考えをまとめ、話す、書くなどして、相手に確かに伝えること。 ・文章の全体像を把握し、文章を基に、必要な情報を選んだり、人物の相互関係などを捉えたりして、論の進め方や表現の効果を考えながら読むこと。 ・互いに話したり聞いたりして考えや思いを共有し、自分の考えを広げること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の大体を捉えたり構成を考えたりして、筆者の考えやその理由をまとめさせる。 ・根拠となる叙述や描写など、着目した箇所を明らかにして読み進める活動を続ける。 ・話す時・聞く時のルールを徹底しながら、他者の意見を繋いでいくようにする。必要に応じて、付箋やICTを活用し、自分の考えの変化や気づきを記述する活動を続ける。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用して必要な情報を集め、自分の考えをもつこと。 ・社会的事象に対して、学習したことを生かし、自身の言葉でまとめること。 ・自らの生活経験や学習経験と、学習内容と関連させて考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取り方を指導し、社会的事象について理解できるようにする。そしてそこから考えたことを思考させる中で、社会的事象の特色や意味を捉えさせる。 ・本時のまとめや学習問題のまとめを書く際に、既習事項を活用しながらまとめられるように声かけする。 ・子供たちの生活と身近な資料を提示したりすることで、自分たちの生活とのつながりについて実感させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を活用したり、類似点を見付けたりして、正しく立式すること。 ・日常生活のどのような場面で関連するかなど、学んだことを日常生活と結び付けて考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の学習内容と比較して、類似点や相違点について考えさせる。 ・数直線やグラフ、数値など画像的表象を充実させて、根拠をもたせて立式や計算ができるようにする。 ・経験や体験を想起させ、学習内容と結び付けるような課題提示や問題提示をする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を理解し、観察・実験に関する基本的な技能を身に付けること。 ・課題を解決する中で、予想や仮説を基に解決の方法を根拠立てて考えること。 ・観察や、実験の結果からどんなことが言えるのか、自分の考えをまとめて伝えていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の目的を事前に示し、意識付けを十分に図る。 ・授業前に予備実験を行った上で、より安全な方法や道具の操作を指導していく。 ・まとめ方を具体的に伝えることで、自信をもって文章を作れるようにする。また、自分なりにまとめる力を育む。 ・児童が興味関心のある内容を調べ、理科分野の楽しさを味わえる活動に取り組む。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を見付け、その課題解決のための方法を自己の能力に合わせて選び、運動に取り組むこと。 ・運動の楽しさや喜びを味わい、自ら主体的に運動しようとする事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間のめあてと振り返りを行い、次の学習につながるようにする。 ・必要感をもって友達同士で互いの動きを見合ったりタブレットを活用したりして、自分に合った課題解決の仕方ができるようにする。 ・問いかけ、称賛、修正、思考できる言葉掛けをしていく。 ・場や用具を工夫し、運動の特性を味わわせる。

道徳	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問の工夫を通して、児童の多様な考え方や感じ方を引き出させるようにする。 書く活動（自己の振り返り）を通して、児童自身が考えを深めたり、整理したりする機会を設ける。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 各自が興味・関心をもった内容から課題を見だし、適切な情報収集能力の育成と表現力を高めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童に学習の見通しや目的を伝えていく。 情報収集する時間を十分確保する。 疑問に感じたことや問題であると考えられたことを課題としていく。 今の自分を見つめたりこれからの自分について考えたりこれからの自分自身のキャリアについて考えていけるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活体験を振り返り、自分の生活に役立つ工夫を考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方に関する基礎知識を習得できるように、学習活動を工夫していく。また、日常的な過ごし方の中でも、どのような取り組みがあるかを考えさせていく。 自分の生活体験を振り返ったり生かしたりできるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けること。 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにすること。 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら様々な音楽に親しむとともに音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする事。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のねらいを明確にし、旋律、リズム、強弱、速度、音色などと曲想との関わりについて理解できるようにする。運指や奏法の基礎を押さえ、スモールステップや発展的に工夫できる教材を選ぶようにする。 音楽を聴いて感じたこと、気づいたことを基に、互いの思いを共有しながら音楽表現ができるようにする。楽曲や演奏のよさを伝えるために、言語活動を通して、自分の思いや友だちの思いを交流させながら、音楽を味わって聴くことができるようにする。 導入時の音楽の出会いを既習事項と関連させながら工夫し、個人の学習活動を保証すると同時に、交流、ペア、グループ学習を有効に取り入れる。様々な音楽をバランスよく取り入れ、日常の音楽との関わりを意識できるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 自分や他者の感覚や行為を通して、造形的な見方考え方を深めること。 材料や用具を活用し、表し方などを自分で発想し構想を重ねながら、創造的に作ったり表したりすること。 親しみのある作品などを鑑賞し、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じとったり考えたりし、他者の感じ方に触れながら自分の見方や感じ方を深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよさや面白さを深めるために、既習の道具や材料を使ってよいことを常に伝える。 発想を深めるための手立てとして、自然に相互鑑賞ができるよう場や時間の設定を工夫し、自分と他者の感じ方の相違を感じる機会をもつ。価値観を広げるきっかけをつくる。 自分たちの作品や美術作品の鑑賞活動などを通して、自分の感性で作品を感じとるおもしろさを感じるとともに、見方を深め自分の表現に生かしていけるような活動の流れにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> すすんで英語で尋ねたり、答えたりすること。 自分の考えや思いを英語やジャスチャーなどで表現しようとする事。 アルファベットの大きい文字や小さい文字を書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に学習した英語を使った内容をウォーミングアップで行う。 イラストなど視覚的資料を充実させて、PCを活用し自ら調べたり、発表したりしながら、英語での表現を身に付けさせる。 ワークシートを活用しながら、アルファベットを見て、書かせる。

